



国際会長 (IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

“Building today for a better tomorrow”

「よりよい明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 (AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

“Action!” 「アクション」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動！」

“Innovation with Courage, Action with Heart”

湘南・沖縄部部長 (DG) 森田 幸二郎 (沖縄)

「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、地域、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Community, With Y's Men!”

監事 松島 美一

ブリテン 伊藤 誠彦

担当主事 青木 一弘

会長 古田 和彦

副会長 金子 功

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 金子 功

<今月の聖句>

松島 美一

「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。気をつけて、目を覚まさないさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。」

(マルコによる福音書 13 章 32-33 節)

今月のひとこと

「ラグビーW杯 2019 桜の戦士に想う日本の将来」

金子 功



日本を会場として開催されたラグビーW杯 2019 の予選リーグを全勝で勝ち進み、ベスト8に残った日本チームは、日本列島を興奮の渦に巻き込んだ。準々決勝での南アフリカ戦では惜しくも敗れたが、その戦いぶりには「爽やかな敗北」と多くの賞賛が寄せられた。

今回の日本チームの快進撃については、多くのメディアも「世界に衝撃をあたえた。」とか「日本の歴史を変えた。」との見出しで報じた。ビデオリサーチの報告に依れば、南ア戦での平均視聴率は41.6%、瞬間では49.1%に達したと言う。

この快挙を成し遂げた31名の代表メンバーのうち半数が7カ国からの外国出身者であることを知って、多少複雑な気持

ちになると同時に日本の将来に通じるものを感じた。

代表メンバーになる資格としては、他国の代表歴が無いことを条件に、①出生国であること、②両親又は祖父母の一人が生まれていること、③その国に3年以上居住していることが条件になっている。

キャプテンのリーチ・マイケルは高校生の時にニュージーランドから留学生として来日、2013年には日本の国籍も取得し自分を育ててくれた日本に恩返しを常に誓っていた。ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ、ニュージーランド出身、は強いチームをつくるモットーを、「One Team」とした。様々な国からきた選手たちが心をつなげて日本のために戦う姿を見て、筆者は、今後の日本に明るい将来を見るように感じた。

日本でタブー視されてきた移民議論がようやく始まり、政府の新しい政策により2019年4月より5年間にわたって毎年345,000人を受け入れると言う。

日本の深刻な人口減少により、外国人労働者の受け入れが拡大することは間違いないと思われる。仮に今後毎年300,000人ずつ外国人が増えて行けば、50年後の在留外国人は現在のそれと合わせ2,000万人近くになる。

外国人が増えると日本の伝統文化が失われるとか犯罪が増えると危惧する考え方もあるが、日本人としてのOne Teamの精神、在留外国人にも安定した生活基盤を施すことにより解決することは可能ではなからうか。

スポーツの世界だけではなく、教育、文化、経済、科学、医療等あらゆる分野で、日本が、これまでも海外から異文化を受け入れ、イノベーションを導き出してきた国柄であることを忘れてはいけないと思う。

多くの外国人選手を擁しながら「One Team」を実現した桜の戦士に将来の日本を描いた次第である。

<2019年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 8名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 4名 合計 13名	75 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<11月の行事予定>

EMC/E, YES

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
16	土	8:00	チャリティーラン	みなとみらい 臨港パーク
22	金	13:00	バザー準備会	中央Y
23	土	9:00	ウェルカムフェスタ	中央Y
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
30	土	15:00	第二回部評議会	中央Y

「10月第一例会報告」

古賀 健一郎

日時：10月10日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA8階811号室

出席者：青木、伊藤メン・メネ、大江、大高、金子、齋藤、古田、古賀

ゲスト：茂木 雄氏(元横浜Y理事) (卓話者) 富山姫路子(横浜中央Y運営委員)、平野絹絵(横浜Y ACT館長)、丸谷士都子(横浜Y常議員)

例会は、金子ワイズの司会により定刻に開始。古田会長の開会点鐘、挨拶に続いて、ワイズソング、ワイズ信条唱和。金子ワイズによる今月の聖句朗読と解説。古田会長によるゲスト紹介の後、金子ワイズによる食前感謝と食事。今例会の卓話は、元横浜Y理事の茂木雄氏による「横浜YMCA（以下、Yと略称）の国際交流の経験に思う」。

茂木さんは68年前に学生Yに入会して以来、長きにわたってYと深い関わりをもってきた。1957年日本IBMに入社し、そこでのアジア太平洋地域の本部での仕事が、自分のYへの働きを担っていく大きなきっかけとなった。1965年頃、韓国IBMに3カ月の長期出張した。相手の要請での出張にもかかわらず、そこで非常に冷たい仕打ちを受けた。相手の人事部長は仕事以外一切話さず、帰国する2週間前にやっと食事に誘われた。歓談の中で、彼から聞くに堪えない話を聞かされた。日帝の植民地支配で韓国の方々がどれほどの苦しみをもったかを綿々と話された。文化、思想、宗教、言語、教育の仕組みを変えられ長きにわたって耐えてきた。特に言葉、彼は流暢な日本語を話す、Humiliating Language(屈辱的言語)と表現し、ほとんど全て英語で話した。そして韓国堤岩里教会の残虐な焼討ち事件にも触れた。

このソウル出張のつらい経験を機に、朝鮮半島での日本帝

国主義の大変むごい植民地政策を謝罪し和解したいとの気持ちになり、それが光州Yとの交流に奔走するきっかけとなっていた。民主化運動のシンボルでもあった光州には、日本の大企業の工場があり徴用工問題もあったが、そのことを超越して、光州Yが横浜Yとの交流を寛大に受け入れて下さったことを今でも感謝している。1978年光州Yとサッカー交流が始まり、これまでの約40年間、いろいろな形でその交流の締結とその発展に尽くしてきた。

光州Yとの交流に加え、仕事で海外出張の機会あるごとに、時間を見つけては、いろいろな都市のYを訪れ、現地の職員の方々と大変有意義な交流の時を過ごした。

国際交流におけるさまざまな心温まるエピソードは語り尽くせないが、最後にもう一つ紹介したい。それは、1958年海外転勤で初めてのニューヨークでの生活だ。そこで人種差別などで大変苦労した。「へい、ジャップ」と呼ばれたり、レストランでは、「お前はこの入り口を使うな」等との差別を受けた。セントラルパークの公園で、米国人の夫婦にどこから来たか尋ねられ、「日本から来た」と答えた途端に烈火のごとく怒られ、「お前たちが私の息子を殺した」・・・と。当時こうした人種差別の中



例会出席者一同

での厳しい生活があった。そんなある日、米国で引越しの時の習慣がわからず思案していた時、誰かが家のドアをノックした。「近所に挨拶もしていないし、また人種差別的言葉を浴びせられるのかな？」とこわごわドアを開けると、目の前に数名の人たちが立っていた。そこには大きな模造紙に地図が書かれ、「ここに郵便局、ここに薬局、ここにレストラン・・・」と、生活にめばしい場所が全部記されていた。私が近所へ挨拶する前に、近所の住民の方々が自発的に貴重な情報を与えてくれたことに感激した。

茂木さんの貴重なお話を伺いながら、「大事なものは“人びと”です“人間”です、人びとというものを頭に置かないで威張って国を運営できる時代ではないのです」との、亡き緒方貞子さんの言葉を思い浮かべた。

卓話の後にはビジネス、今後の予定等を確認して定刻に終了。本日のロバ献金は9千円。

「湘南・沖縄部役員会報告」

古田 和彦

10月5日（土）15:00から15:30まで、中央YMCA8階811教室で、次次期部長選考のための部役員会が開かれました。先ず、参加の各クラブ会長に立候補者・推薦者があるか無いか問合せがありましたが、特に立候補者等はありませんでした。森田部長から、特に候補者がいないのであれば、継続してもう一期、部長を行いたいとの申し出がありました。検討・協議の結果、その提案を受け入れ、今期に続いて次期部長とすること、次期部長に内定していた古田和彦ワイズ(横

浜)を次次期部長に、佐藤節子ワイズ(厚木)を直前部長にとスライドし、トロイカ体制を維持することとしました。

役員会では、このように決めましたが、東日本区定款等に照らして問題ないかどうかの問い合わせを伊藤康一部書記から東日本区に確認し、問題がなければ、11月30日(土)開催の第2回部評議会において機関決定することとなりました。

「ワイズカップチャリティーサッカー大会報告」

伊藤 誠彦

10月19日(土)、横浜中央YMCA体育館でワイズカップチャリティーサッカー大会が開催されました。本大会は今年で4回目。4~6歳の参加ちびっこは北Y6名、中央Y4名、合計10名と前3回と比しやや寂しい大会となりました。

古田会長の幼児目線の開会挨拶の後、今大会から取り入れられた「しっぽ取り」、「三角コーン倒し」、「スタンプラリー」などの楽しい



ボールに食らいつくちびっこ

ゲームが開始された。ゲームの後はサッカー対抗試合。戦力が均衡するよう2チームに分けて各チームにリーダーを1名ずつ配置。その後は、

ちびっこチームとリーダーチームの試合なども含めて、いろいろなチーム編成、いろいろな組み合わせ、で試合が行われた。軽快な動きで見事なボール捌きを見せるリーダー達に絡んでいるうちに、ちびっこ達の動きが明らかに段々と様になってきたのには驚いた。同時にリーダー達がなんとかちびっこ達を楽しませてやろうとする努力や、リーダー達のちびっこへの優しい接し方に感心した。

13時過ぎから開始された大会は、16時過ぎ、金子ワイズの閉会の挨拶で幕を閉じた。ちびっこ達は参加賞のお菓子の袋を貰って、体育館2階で観戦していた父兄に付き添われて満足そうに引き揚げた。今大会では、横浜つづきクラブからの参加者が無かったが、後日、コミュニケーションミスで大会の開催が伝わっていなかったことが判明した。

横浜クラブ参加者は、伊藤、金子、古田の3名。

「厚木クラブ移動例会参加報告」

古田 和彦

10月30日(水)素晴らしい秋晴れの日、厚木クラブの移動例会に参加しました。午前9時前、ECAT海老名に18名が集まりました。内訳は、厚木クラブメンバー10名、ゲスト6名、鶴見クラブの中村ワイズとわたし古田です。

9時、くっきりとした富士山を横目に、出発。行先は東京・巣鴨のとげぬき地蔵。車中で例会を実施。司会は堀田ワイズ。日下部会長のチーンと口頭での点鐘で開会。会長挨拶に続き、ワイズソング・ワイズの信条を唱和し、ビジネスを進めました。テーマはチャリティーラン、Y祭(厚木のフェスタ)、クリスマス例会、来年1月22日に行う創立15年の祝い会、そして、被災地支援募金などでした。ロバ献金が回され被災地支援に送られることとなりました。ハッピーバースデーの

3名をお祝いし、30分ほどで例会を終了しました。

東京への道は途中から渋滞がありましたが、車中では歌集が配られ、数曲を歌い、予定時間を少し遅れて11時巣鴨に到着。そこには、澤内隆ワイズと田口堅吉ワイズが待ち受け、その後の案内はすべて澤内ワイズがされました。

昼食はとげぬき地蔵横のソバ屋で。小林秀ワイズの祈祷のちソバをいただき、巣鴨地蔵通りを散策。巣鴨が中山道と江戸との分岐点であり、真性寺の地蔵はその徴であることを学びました。次いで、六義園に。澤内ワイズの説明を受けながら、穏やかな温かい日差しの中1時間ほど散策。緑に心を洗われ、ゆっくりと気持ちの良いひと時でした。続いて、谷中銀座に行き、食べ歩きをしながらあちこち見物しました。15:40バスにて帰途につきましたが、私はそこでお別れし帰宅しました。打ち解けた和やかな楽しい一日でした。

他クラブの例会に出ますと、そのクラブの人や実情がよくわかります。また、各クラブの企画にほかのクラブが合同することは、働き手が少なくなっている今、合理的であるとも思いました。企画を早く立て、その情報を他クラブにも流していくことが肝要だと感じた次第です。

「近況報告 虹の橋」

古賀 健一郎

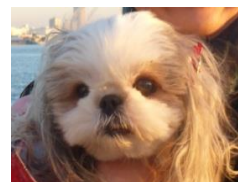


先日愛犬が天国に旅立ちました。15歳でした。あの日、ペットショップに立ち寄った時、私は一目惚れして、すぐに家族を説得し家に連れ帰りました。メスのシーズー犬でした。名前は女優の「オードリー・ヘップバーン」からとり「オードリー」としました。

オードリーは家族の中でアイドル的存在となり、息子も妹のように可愛がりました。息子が大学院での化学の研究で大変な時期に、いつも大岡山から最終電車で帰る息子を横浜駅で車の窓からのぞき込み、尻尾を振って、毎晩出迎えました。

企業に入って埼玉に息子が転勤し時が経ちました。終末期に入った愛犬を励ます為、9月の3連休を利用して横浜に帰ってきた息子に、弱々しくなった体でたっぷり甘えてました。天国に旅立った当日、早朝に出勤する息子を横浜駅まで見送り、息子も元気そうな表情に安心して帰りました。息子との別れを気丈に振る舞った後、その数時間後、オードリーは安らかな表情で息を引き取りました。息子への気遣いに加え、これまで多くの人たちとも温かい交わりがありました。特に亡くなった義理の母は、生前オードリーに出会う以前までは、犬は敬遠気味でしたが、終末期の病室にはオードリーの写真を枕元に飾っていました。オードリー・ヘップバーンの有名な言葉に『ひとつの手は、自分自身を助けるため、もうひとつの手は他者を助けるために。』とありますが、愛犬オードリーもまた、その言葉を大切に実行したように思います。

かかりつけの病院に行き身支度を整え、教会で荒井牧師にお祈りしていただき、火葬した後、再び自宅に戻ってきました。常に我々家族の中心にいた彼女の思い出の品を見るたびに、寂しさが募ります。これがまさしくペットロス的心境なのでしょう



う。旅立ってしまったペットたちが、天国のほんの少し手前にある虹の橋のたもとで家族を待っているお話の「虹の橋」での再会を信じて、悲しみを乗り越えたいと思います。命あるものと強い絆で結ばれた喜びの中で気づかされたこと、弱い立場の人や動物の命が大切に守られていくことが、平和な社会につながるのだと思います。これからも心の中に生きる愛犬の遺志をしっかりと引き継いでいきたいです。

近況報告

松島 美一



10月12日の台風19号は1958年(昭和33年)の狩野川台風匹敵する風雨をもたらすとこの予告が出されていました。狩野川台風では鶴見川の氾濫で川崎市のが家が床上浸水になった思い出があります。今回も多摩川や鶴見川の氾濫注意報が出ました。

六十余年の歳月を経、建て直したわが家の床は前回の水位以上に上げてありましたが、前回以上の洪水を想定、身体不自由な妻を娘と2人で2階へ担ぎ上げる準備の他、飲み水、食料確保等、十分な覚悟をもって台風を待ち構えました。幸いにその準備は空振りでした。

ニュースによると前回と異なるのは、鶴見川治水対策の進捗であったようです。横浜のサッカースタジアムの広大な駐車場は遊水地となり、スタジアム自体も高床式となり下に水を引き込む構造になっていたそうです。この他の治水対策と相まって、狩野川台風級の降水量でも氾濫は防げたようです。

台風19号は東日本各地に大きな被害を残しました。わが家と近所は幸いにして前回の轍を踏まずにすみました。今回の被災地も次回には今回の轍を踏まないように、これから防災工事を積み重ねることを願います。自然災害は年々強度と頻度を増しつつあるように見えるからです。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：10月24日(木) 17:00~18:30

場所：中央YMCA 811教室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田

- 1) 幼児サッカー大会：今後のあり方について協議の予定
- 2) チャリティーランとウェルカムフェスタ：参加可能者を後日確認する。
- 3) 寄贈十勝じゃがいも：11月6日に2福祉施設へ配達予定、残りはウェルカムフェスタの一環で1階G1にて販売開始
- 4) 90周年記念行事：式典は2020年12月12日(土)に仮決定、行事案は金子ワイズ作成の行事案を基に各自の意見を明確にし来年1月迄に最終決定する
- 5) 台風19号被災募金：ロバ献金から2万円を拠出する



担当主事 青木 一弘

◆ポジティブネットYMCA募金

台風19号・15号被災地支援募金のお願い

9月、10月と台風が日本列島に上陸し、広域にわたり甚大な被害を引き起こしました。被災された皆様、関係者の皆様へお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈ります。横浜YMCAでは、いち早く活動を始めていますが、このたび、全国のYMCAと協力して支援募金を展開しています。皆様のご協力をお願い致します。

期間 10月18日(金)~2020年3月31日(火)

郵便振替【振込先】

郵便振替口座 00230-8-2878 公益財団法人 横浜YMCA
※通信欄に「台風支援」とご記入ください。2,000円以上の募金につきましては税額控除の対象となります。

◆ウェルカムフェスタのご案内

横浜中央YMCAでは、2019年11月23日(土・祝)にチャリティーイベント「ウェルカムフェスタ」を開催します!!
バザー・コンサート・模擬店・抽選会・クラフト・体験ブースなど、子どもも大人も楽しめるブースが盛りだくさんです。来場は無料です!どなたでもご参加いただけます。このイベントの収益は、すべて海外・地域支援や東日本大震災・熊本地震など災害の復興支援に用いられます。また、ブースのお手伝いをしてくださるボランティアも募集しております!ご協力いただける方は、ぜひご連絡ください!

11月例会プログラム

日時：11月14日(木) 18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 811号室

司会：齋藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 古田会長
 2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
 3. 今月の聖句 松島ワイズ
 4. ゲスト・ビジター紹介 古田会長
 5. 食前感謝 松島ワイズ
 6. 食事
 7. 卓話 「YVLFに参加して」
石井 亮馬、菊井 晶子、室崎 万理花さん
 8. ビジネス・報告 古田会長、他
 9. *Happy Birthday* 大高 幾子、伊藤 比朗美、伊藤 誠彦
押川 幸男
 9. 閉会点鐘 古田会長
- 例会報告 齋藤ワイズ

12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
3	火	19:00	Y-Y's 協議会	中央Y
12	木	18:00	横浜クラブ例会・忘年会	廣東飯店
19	木	18:00	横浜Yクリスマス会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080